

令和4年度

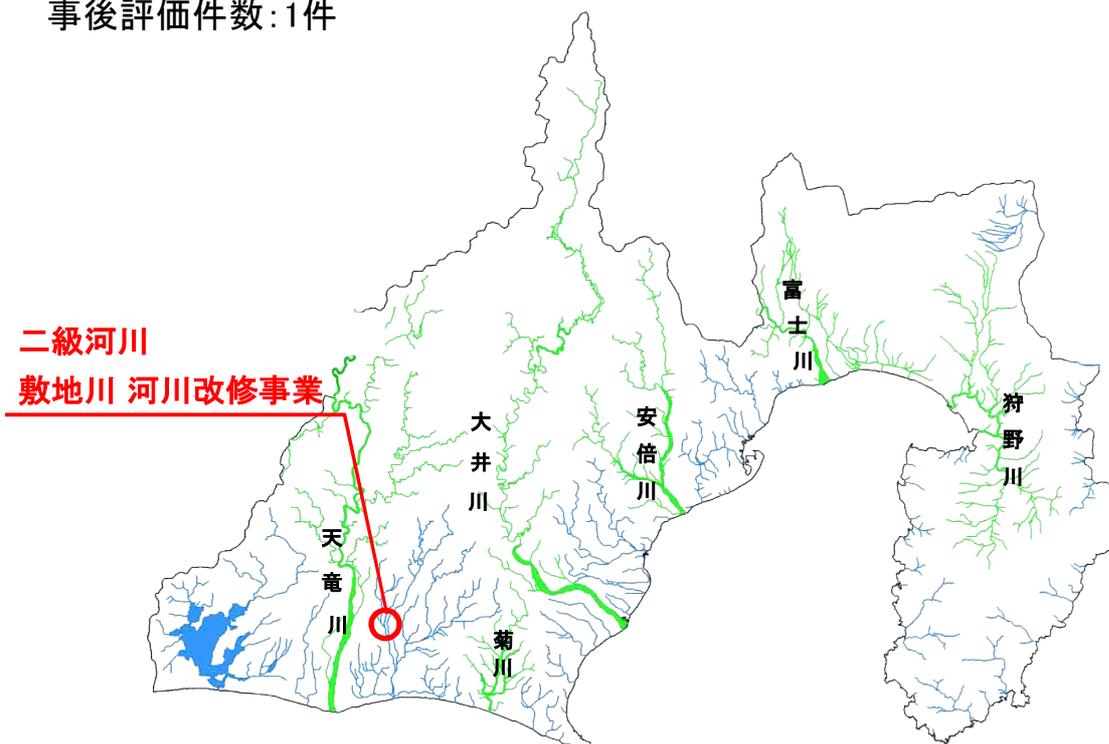
## 公共事業事後評価

番号	事業名	箇所名	代表箇所
7	河川改修事業	二級河川 敷地川	◎

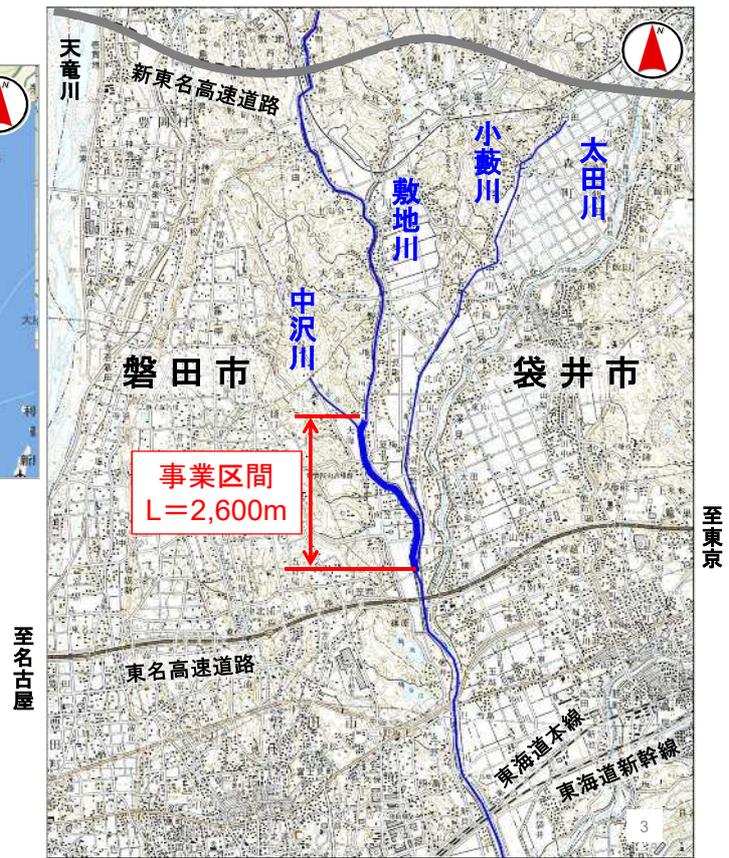
河川砂防局 河川海岸整備課

### 再評価実施箇所位置図

事後評価件数: 1件



# 1. 位置図



# 2. 事業概要

<広域河川改修事業>  
二級河川太田川 敷地川工区

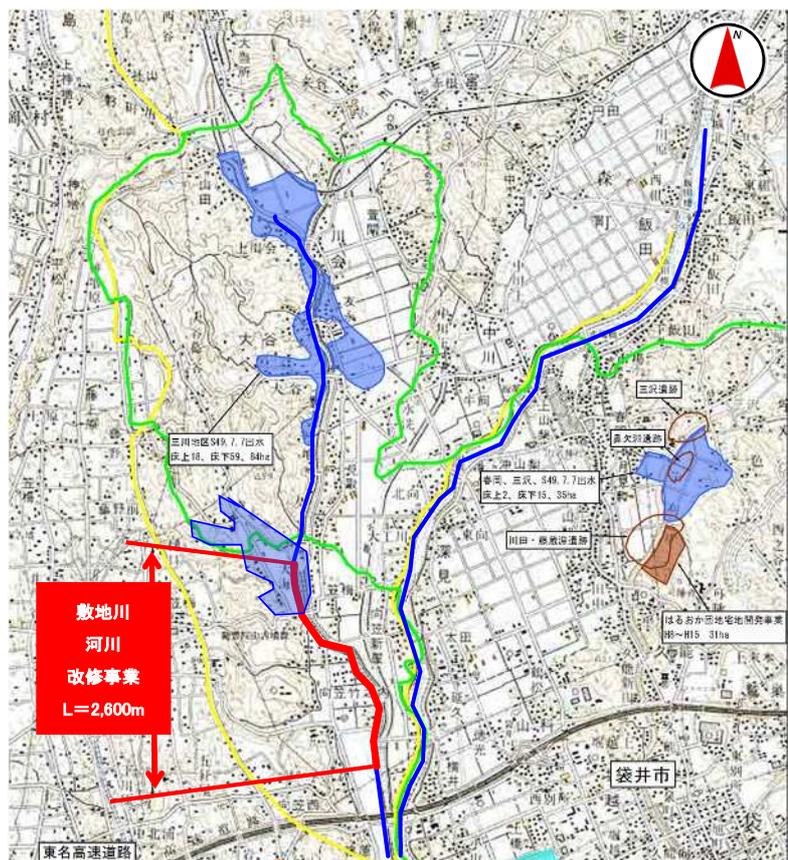
—当初—

事業期間	平成14年度～平成29年度
事業費	1,132百万円



—実績—

事業期間	平成14年度～平成29年度
事業費	1,144百万円

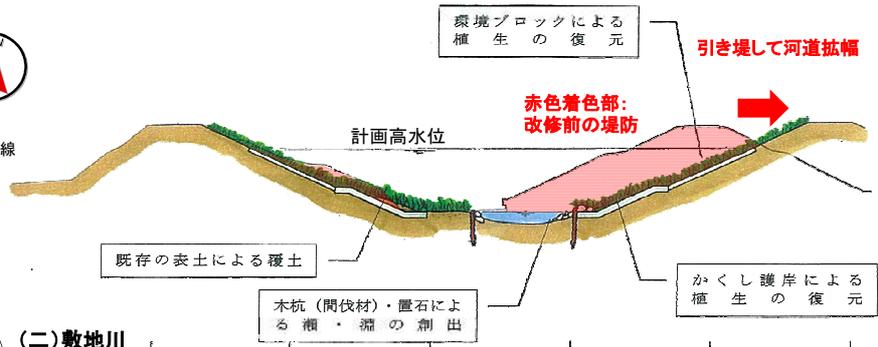


## 2. 事業概要

概略平面図



標準横断面図



改修規模 68mm/h 治水安全度 1/5

<実施内容>

- 改修延長 : L=2, 600m
- 築堤工 : V=20, 700m<sup>3</sup>
- 掘削工 : V=70, 400m<sup>3</sup>
- 護岸工 : a=9, 422m<sup>2</sup>
- 道路橋 : N= 4 橋
- 樋門・樋管工 : N= 1 基

5

## 3. 過去の浸水被害の状況



袋井市延久地点 太田川破堤箇所



磐田市三ヶ野



磐田市三ヶ野

磐田市西之島

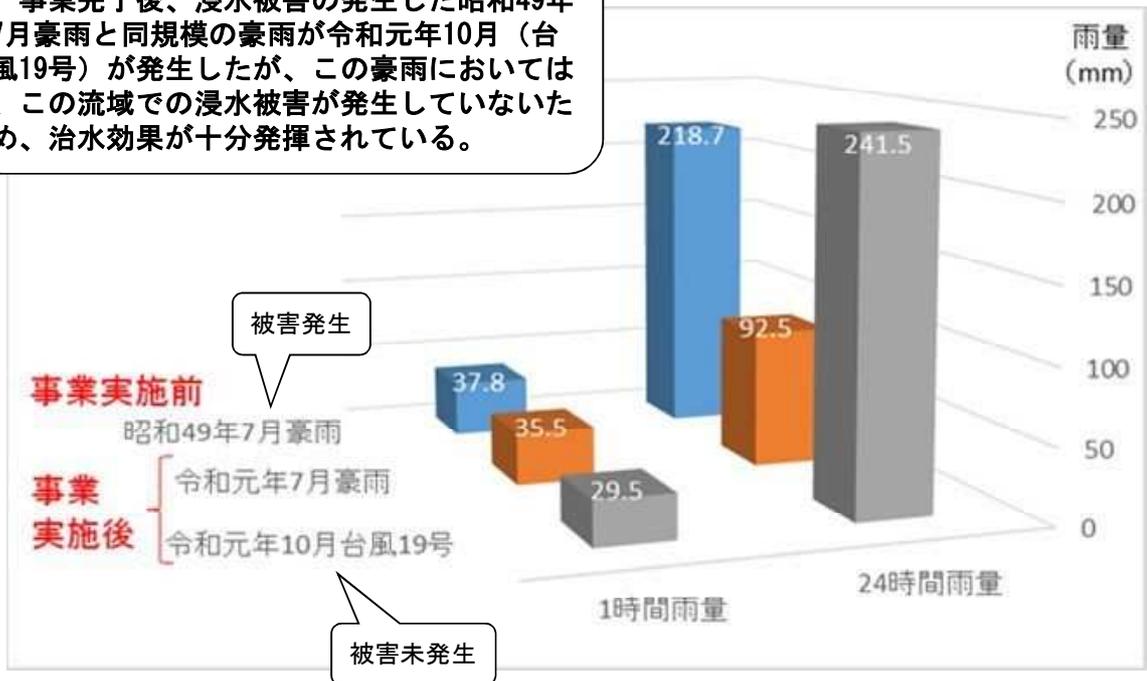


磐田市新貝



## 4. 事業効果の発現状況

事業完了後、浸水被害の発生した昭和49年7月豪雨と同規模の豪雨が令和元年10月（台風19号）が発生したが、この豪雨においては、この流域での浸水被害が発生していないため、治水効果が十分発揮されている。



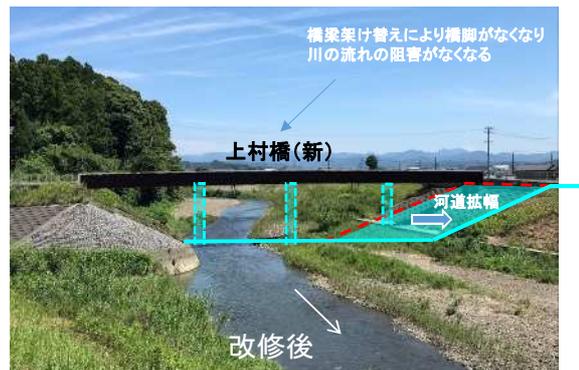
事業効果が発現されている

7

## 5. 改修の状況

河道拡幅により、治水安全度が向上

上村橋より上流を望む



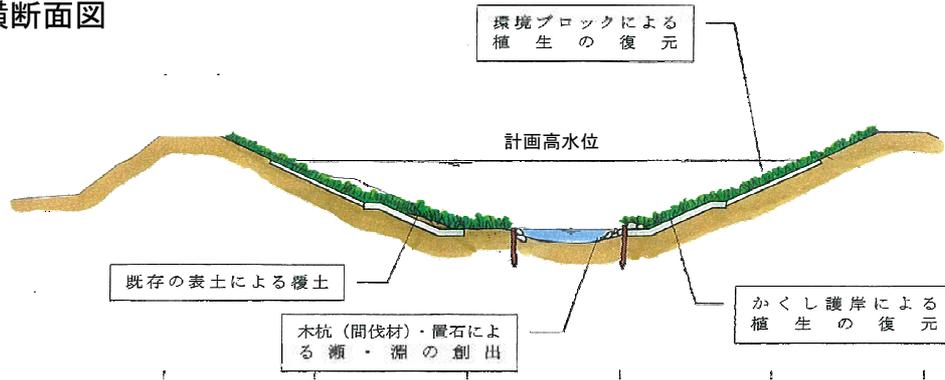
新笠梅橋より上流を望む



8

## 6. 事前環境復元への配慮

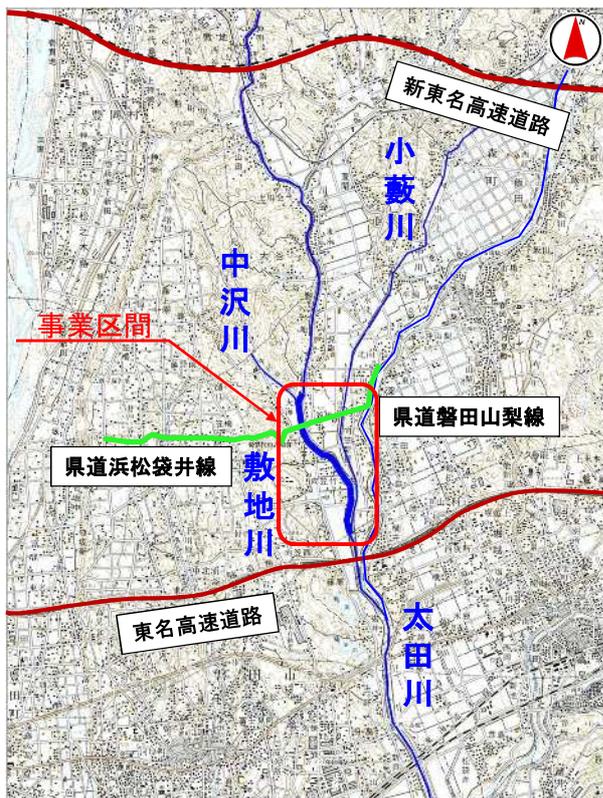
標準横断面図



西大坪橋付近の河道状況



## 7. 事業を巡る社会情勢等の変化



河川改修による治水安全度の向上のほか、ネック部であった県道の橋梁を架け替えたことより、地域交通の利便性の向上にも寄与した。

また、河川改修区間近傍において、大規模な工場が建設されるなど企業の進出が見られる。今後も新東名高速道路や東名高速道路からの交通アクセスの良さから地域の活性化が期待される。

## 8. 対応方針(案)

- 事業完了後、浸水被害の発生した昭和49年7月豪雨と同規模の豪雨が令和元年10月(台風19号)が発生したが、当該流域での浸水被害は発生していないため、治水効果が十分発揮されている。

**事業効果は十分発現しており、  
改善措置の必要はない**

### 今後の対応

河川パトロールや草刈りなど、河川管理者として適切な維持管理に努めるほか、流域治水プロジェクトを通じて、流域のあらゆる関係者ととも到大規模な洪水が発生しても壊滅的な被害を回避できるようにソフト対策を充実させていく。